



文殊小学校だより

令和6年度 第7号

発行日 令和6年11月1日(金)

「文殊っ子日記」はこちら→



2学期がスタートしました。2学期もいろいろな勉強や学校行事があります。是非、子どもたちがさらに成長できるよう、それぞれの活動に取り組んでいきたいと思ひます。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

～2学期始業式のお話から～

(要旨)

これまで、文殊小学校が目標とする児童の姿についてお話をしてきましたが、今日は、その中の「礼儀正しく、あいさつができる」について、改めてお話をします。

みなさんと私の一日の生活のスタートは、毎朝、校門でのあいさつから始まります。「おはようございます」ですね。児童玄関の入り口の上の方には、「あいさつで みんな なかよし 文殊っ子」という言葉が掲げられています。みなさんは、毎日、しっかりとあいさつができていますでしょうか。

「あいさつ」という言葉を漢字で書くと、このように(挨拶)書きます。この2つの漢字には、それぞれ意味があります。「挨」には、「心をひらく」という意味があり、「拶」には、「相手に近づく」という意味があります。つまり挨拶には、もともと「自分から心を開いて、相手に近づいていく」という意味が込められています。ですので、児童玄関の「みんな なかよし 文殊っ子」という言葉にあるように、お友だちやまわりの人たちと仲よく、より良い関係を築いていくためには、自分から心を開いて、相手に近づいていく必要があります、あいさつは、その第一歩となります。

文殊小学校では、より良いあいさつについて、「あいさつは いつでも どこでも なんとでも さきに つたえよう心」ということを呼びかけています。挨拶という言葉の意味からすると、特に、「さきにつたえよう心」というところがとても大切です。

あいさつは、相手から言われてするのではなく、まず先に自分からあいさつをしてほしいと思ひます。そして、心を伝えるためには、相手を見て、しっかりとした声であいさつをすることが大切です。

2学期もたくさんの行事があります。特に、修学旅行、宿泊学習、校外学習…と、学校の外に出かけて、いろいろな人にお世話になったり、人との出会いがあったりします。感謝の気持ちを伝えたり、いろいろな人により良い関係を築くためにも、自分から進んであいさつができるようにしましょう。

(校長 ○○ ○○)

○10月22日(火) 1・2年 さつまいもほり JAの方々にお世話になり、たくさん収穫できました。



○3年生 ひょうたんづくり 育てたひょうたんは大収穫。魔法の水で中を腐らせ、洗って干しました。



○10月18日(金) 4年 認知症サポーター養成講座



○10月9日(水) 足羽一中母校訪問駅伝



○10月22日(火)・23日(水) 5年 宿泊学習

5年生が、あわら市にある芦原青年の家に宿泊学習に行ってきました。石窯ピザ作り、サイクリング、北潟湖でのカヌー、キャンドルサービス&レクレーション、レザークラフト、カレー作りと、2日間でたくさんのことを体験し、多くのことを学びました。とても充実した、楽しい宿泊学習でした。



○10月24日(木)・25日(金) 6年 修学旅行

6年生が、奈良・大阪・京都方面に修学旅行に行ってきました。ユネスコ世界遺産に登録されている平等院鳳凰堂、東大寺・奈良公園、夜のUSJ、嵐山、金閣寺、東映太秦映画村、友禅染体験と、小学校生活の一番の思い出となる修学旅行を満喫しました。笑顔の2日間でした。



11月の主な行事

7日(木) 1・2年生 校外学習
16日(土) 授業参観、芸術鑑賞、引き渡し訓練
20日(水) 3年生 北陸新幹線出前講座
28日(木) 保護者懇談会

14日(木) 5・6年生 走力UP教室
18日(月) 振替
27日(水) 4年生 校外学習
29日(金) 保護者懇談会